

プロが行う分散投資の新潮流

今、世の中のプロの投資家の中で注目されているのが、複数の資産に投資を行う分散投資、いわゆる「マルチ・アセット運用」です。特に中長期運用を行っている政府系ファンドや、年金基金、大学基金等は、いずれもマルチ・アセットの運用を行っています。

先進的なマルチ・アセット運用とは？

マルチ・アセット運用の歴史は長く、1970年代に分散投資の理論が台頭しました。特に米国では株式60%、債券40%といった資産配分が定着し、広く普及しました。その後、市場環境の変化や金融商品の発展とともに、リートやコモディティ（エネルギーや穀物等含む商品先物市場で取引されているもの）などさまざまな資産を活用してきました。最近では伝統的な株や債券とは異なる動きを期待できる新しい運用手法が開発されてきており、分散効果を高める目的でこれら新たな運用戦略（ヘッジファンドなど）を積極的に活用するなど、更にマルチアセットは進化してきております。

分散効果を求めて進化してきたマルチ・アセット運用



多くの先進的投資家が選んだ運用手法

多くの中長期投資を行っている機関投資家は、マルチ・アセット運用を行っています。実は、彼らの多くは市場動向を予測しタイミングを見て売り買いすることを主な手法とはしておりません。中長期に市場トレンドを当て続けるのが難しいことを経験的に知っているからです。その中で中長期的に様々な分散投資を行い資本市場の成長（経済成長）から安定した収益を獲得するといった運用手法に主眼を置いています。

分散投資という考え方はシンプルですが、時代や考え方によってその内容は大きく異なります。

是非、プロの投資家が実践する最新の分散投資（マルチ・アセット運用）を参考に、中長期の運用を始めてみてはいかがでしょうか？

上記は例示を目的とするものです。

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)(が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、当該個別銘柄の売却、購入または継続保有の推奨を目的とするものではありません。本資料において言及された証券について、将来の投資判断が必ずしも利益をもたらすとは限らず、また言及された証券のパフォーマンスと同様の投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。

本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。

<審査番号: 20021-TMPL-11/2015-106037> © 2015 Goldman Sachs. All rights reserved.